

## 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	理工学部	身分	教授
氏名	庄司 裕子		
NAME	Hiroko SHOJI		

## 1. 研究課題

（和文）創造的思考を伴う合意形成プロセスのモデル化に関する研究

（英文）Modeling of consensus building process characterized as creative thinking

## 2. 研究期間

1年間（2018年度）

## 3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

合意形成とは、複数の参加者が互いに異なる価値観の存在を認めながらコミュニケーションし、一人一人が納得できる解決策を創造していくプロセスである。現代社会では様々な局面で円滑な合意形成が求められる。本研究では、創造的な合意形成プロセスの特徴を明らかにし、そのプロセスモデルを構築することを目的とする。具体的には、まず、旅行計画を例題として合意形成プロセスの事例を収集した。次に、事例を分析して創造的な合意形成の成功パターンを抽出する。そして、数理的な手法の一つであるベイジアンネットワークを用いて創造的な合意形成プロセスのモデル化をおこなった。さらに、提案したプロセスモデルの有効性を検討した。これらの結果は学術論文や学会発表で公表済みである（今後の予定も含む）。

現実社会での合意形成では感性的な側面を考慮してコミュニケーションのマネジメントを工夫し、創造的な合意形成を促すことが重要であるにも関わらず、従来研究では合理的な枠組で捉えられる合意形成のみが対象とされる場合が多く、創造的な合意形成プロセスに関する理論的な枠組やモデルは提案されてこなかった。ケーススタディの蓄積も未だ不十分である。本研究で得た知見は、従来は現場のノウハウと考えられてきた合意形成のための場の設定やマネジメントをおこなう労力を削減するための礎となるものであり、社会的にも有意義であると考えられる。

（英文）

We studied on value creative consensus building processes. It was observed that member viewpoints changed through sharing a central concept (value). Next, we analyzed the consensus building process involved, using a constructed Bayesian network model, and found that the appearance of the concept influenced the choice selection. We were able to quantitatively characterize the structure of a consensus building process involving many choices, using a mathematical method based on the Bayesian network. Furthermore, we examined the effectiveness of the proposed process model. Findings in this research is a foundation for reducing the effort of setting and managing a place for consensus building, and that is socially significant.